

放射線について考えてみよう シリーズ

監修: 公立大学法人 大阪府立大学 地域連携研究機構・放射線研究センター 量子線化学生物学研究室
教授 古田 雅一

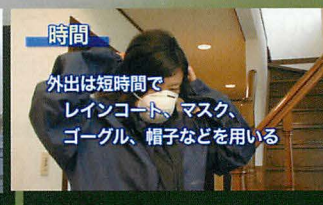
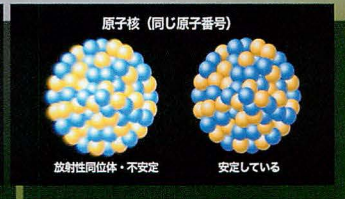
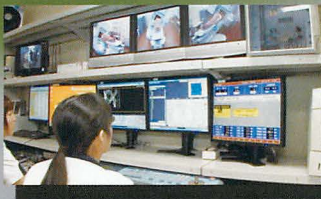
放射線教育ビデオ・DVD 約16分

小学生向け しらべてみよう 放射線



放射線教育ビデオ・DVD 約18分

中学生・高校生向け 放射線の正しい理解



企画意図

2011年3月11日、東日本大震災によって発生した、福島第一原発事故。それまで放射線は、私たちに豊かな暮らしをもたらしてくれるイメージの強いものでしたが、一転、健康への影響や危険性が問題とされました。

このような原発事故が発生すると、恐ろしさだけが強調され、正しい姿が見えなくなることもあります。

この作品は、小学生向け、中学生・高校生向けとして、放射線のことをもう一度みんなで考え、正しく理解することの大切さ、冷静に判断していくことの大切さを訴える作品です。

監修者のことば

東京電力福島第一原子力発電所事故をきっかけとして、放射線に対する関心が社会全体に高まると同時に、大人にも子どもにも、「放射線は怖い」という印象が広がっている気がいたします。

ところが、「放射能」「放射線」「放射性物質」—これらの基礎的用語でさえ、区別して認識している人は少ないのが現状で、そのため子どもたちも、原子力や放射線について正しく学ぶことができない状況にあります。学校でも30年余りの長い間、放射線について教える機会はありませんでした。このように、正しい知識が欠落したままでは、風評被害を正すこともできず、偏見や差別の温床になりかねません。

幸い、平成24年から中学校理科に放射線教育が本格的に導入されることになりました。

放射線は目に見えず、臭いもないため、テキストや言葉だけで教えることは困難です。そこで、この作品では、子どもたちに霧箱の実験や検知器を使って、その存在をまず実感してもらいます。放射線は大量に受けると人体に影響が及びますが、使い方によっては、レントゲンやがん治療などに役立っていること、宇宙や大地などからの放射線もあり、人は日常的に、ある程度の放射線を浴びて生活していることも、映像を通して正しく実感できるように工夫いたしました。

放射線とその影響に関しては、未だ明らかにされていない面が多く、そのために様々な意見が飛び交い、混乱を招いています。しかし、放射線と健康について現時点で明らかにされていることを十分に理解することで、現在も進行中である福島の困難な事態の理解に役立てられるのではないかと思います。

日本の将来を担わなければいけない子どもたちにおいては、小学校、中学校、高等学校の各段階に応じた、放射線についての正しい知識を蓄え、自ら考え、正しく判断する力をしっかり身につけてもらうことを願っています。

監修 公立大学法人 大阪府立大学 地域連携研究機構・放射線研究センター
量子線化学生物学研究室 教授 古田雅一

しらべてみよう 放射線

[小学生向け 約16分]

- ① 放射線とは?
- ② 身のまわりの放射線
- ③ 放射線を出すもの
- ④ 放射線の利用
- ⑤ もし事故が起きたら

・ライブラリー価格 本体 ¥60,000+税
・学校価格(小学校のみ) 本体 ¥19,000+税

放射線の正しい理解

[中学生・高校生向け 約18分]

- ① 放射線の発見
- ② 身近な放射線
- ③ 放射線と健康被害
- ④ 放射線の利用
- ⑤ 事故が起きたら

・ライブラリー価格 本体 ¥60,000+税
・学校価格(中学・高校のみ) 本体 ¥19,000+税

監修 公立大学法人 大阪府立大学
地域連携研究機構・放射線研究センター
量子線化学生物学研究室
教授 古田雅一

企画・制作統括 高木裕己
脚本・演出 細見吉夫

DVD [カラー] / 2013年

●お問い合わせ、お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101